

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				41
	客観性 : 思考的思慮深い				55
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				54
	気分性 : 感情のまま行動				38
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				50
	規則性 : 常識的・順法的				51
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				50
	自尊心 : 気ぐらいが高い				23
自制型	慎重性 : 見通しをつける				73
	弱気さ : 取越苦勞・遠慮				71

■この人の中心性格は「自制・慎重性」および「自制・弱気さ」であるが、「思索・客観性」や「活動・身体性」といった側面も本人は意識している。

●「自制・慎重性」及び「自制・弱気さ」の人のパーソナリティスケッチ
 過信せず、見通しがつくまで動かない慎重さがこの人の本質である。思いやりがあり、自分をおさえる良さがあるが、問題がおこると自罰的傾向をとり、くよくよと取り越し苦勞する面も。気弱で引っ込み思案の人である。
 自分に自信がなく、快活な面がみられない。神経が細かく過敏な性格で、人前では緊張してかたくなりがちである。余裕がなくなると、多少不安定な行動をとる可能性も。一般的にはまじめで一途な人が多いが、柔軟性に欠けおおらかさがない。

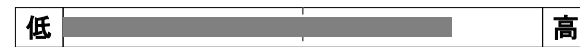
●もう一方の性格特性
 おだてに乗せられる事がなく、自分自身をよく見つめている大人である。「分」をわきまえていて、すがすがしい印象を与える。決して自分をおごり高ぶらず、落ち着いている。それは自己信頼のためであると考えたい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型				50
客観・科学型				40
社会・経済型				38
心理・情緒型				58
審美・芸術型				58

雑知識が妨害し、一面的な角度から物事を見ようとする。
 世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。
 相手の心情を読みとり、こまやかな配慮をしようとする。
 芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				37
協調性				40
責任感				61
自己信頼性				47
指導性				32
共感性				43
感情安定性				53
従順性				50
自主性				51
モラトリアム傾向				57

指示されたことは処理するが、つねに遠慮がちで消極的。
 意見が衝突して、対人関係で問題を起こす可能性もある。
 自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つとする。
 自分の考えなどを主張するより、相手の意見にあわせる。
 今の考えや生き方について、確信がつかめず悩んでいる。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

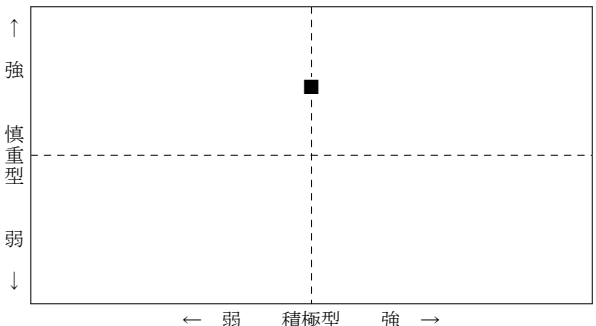
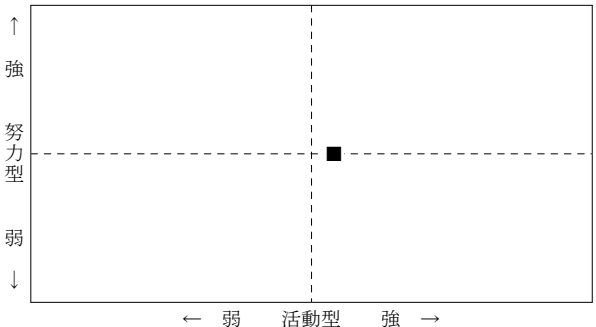
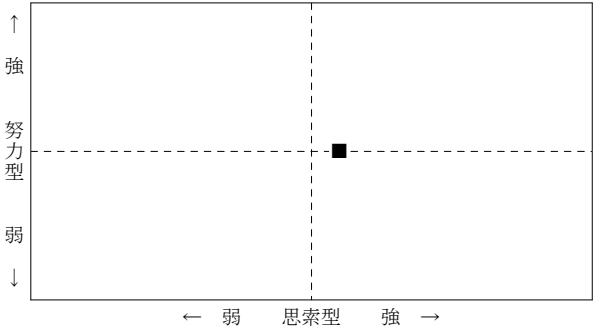
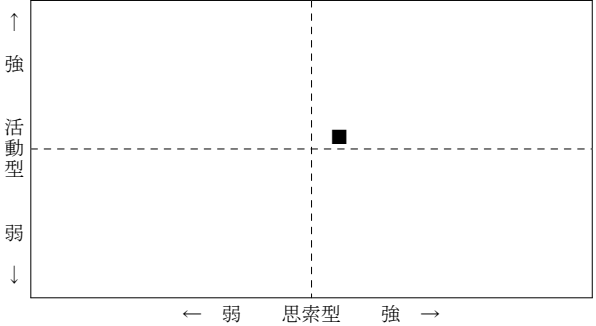
意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				43
親和 欲求				37
求知 欲求				45
顕示 欲求				38
秩序 欲求				58
物質的欲望				61
危機 耐性				44
自律 欲求				49
支配 欲求				38
勤勞 意欲				42

世の中は実力と努力が大切で、友は能力のある人を選ぶ。
 輪の中心となるより、あまり目立たず静かにしていきたい。
 自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。
 モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。
 人の上に立ち、自分の管理下におくような事には消極的。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

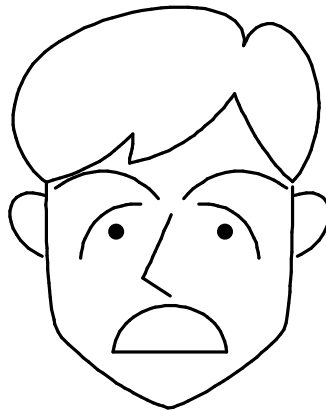
【本人の性格特性】

■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求
 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型
 エラ顔 = 積極型
 細長顔 = 自制型
 丸顔 = 活動型
 角顔 = 努力型



【自己評価】

意欲・ヤル気			管理・対人能力			思考能力								
積意根責決指リ自調折独現洞企専情	極欲気任断導 己整衝創状察画門報	実熱強感勇力ダ信力斬分力立知活	行意さ気 頼											
D	A	C	B	E	C	B	D	E	E	E	D	C	E	D
C			D			D								

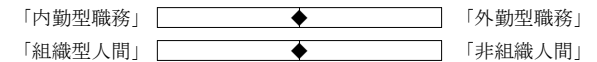
【採用判定】

定着性・安定性 = 10
 CUBICの判定結果 = 「D」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	██████████	51
(2) 海外など精神力の必要な職務	██████████	28
(3) 足腰のよさが武器になる職務	██████████	39
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	██████████	48
(5) 標準化された仕事や工場労働	██████████	44

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「小適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「努力」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (3) 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (4) 「努力」営業など対人的接触をとまう仕事
- (5) 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (6) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適度」営繕専任者
- (2) 「小適」経理専任者
- (3) 「小適」経理管理者
- (4) 「努力」基礎研究管理者
- (5) 「努力」基礎研究者
- (6) 「努力」秘書専任者

《低い順》

- (1) 「努力」広報専任者
- (2) 「努力」広報管理者
- (3) 「努力」営業専任者
- (4) 「努力」営業管理者
- (5) 「努力」企画専任者

【判定結果E】配置適性 2

- | | |
|--------------|-----------------|
| (1) 「適切」倉庫 | (1) 「努力」教育研修 |
| (2) 「適切」庶務 | (2) 「努力」広報 |
| (3) 「適度」購買 | (3) 「努力」商品企画・開発 |
| (4) 「適度」品質管理 | (4) 「努力」顧客開発 |
| (5) 「適度」総務 | (5) 「努力」経営企画 |
| (6) 「適度」人事 | |

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				51
	客観性 : 思考的思慮深い				47
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				54
	気分性 : 感情のまま行動				63
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				63
	規則性 : 常識的・順法的				51
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				55
	自尊心 : 気ぐらいが高い				58
自制型	慎重性 : 見通しをつける				61
	弱気さ : 取越苦労・遠慮				51

■この人の中心性格は「活動・気分性」および「努力・持続性」であるが、「自制・慎重性」や「積極・自尊心」といった側面も本人は意識している。

●「活動・気分性」及び「努力・持続性」の人のパーソナリティスケッチ
 思い付きが早く、それを実行に移す行動力がある。浮わつた感も少なく、環境が変わっても柔軟に適應することができる。ただ気分屋な面があり、自分が傾倒できないような気の向かない事には、手もつけないこともあり、快活に張り切っていたかと思えば、一人でちんまりとしているときもある。感情に起伏があり、それがたびたびあらわれる。また、人間的には人情もろくお人好しなところがあり、生活ぶりは規則正しいという印象がある。そして、手際の上さというよりも、ひとつのことをコツコツと取り組み、尻上がりに熱がこもってくるほうだといえる。努力家的なところもあり、手掛けたことは時間をかけても最後までかかわっていかうとする。派手さはないが、社会性を身につけているといえる。また、規則や秩序にあまりしぼられることはなく、そのときの状況にあわせた判断をすることができ、発想も固定的なものばかりではない。気分のムラや周期性は気になるところだが、その感情の揺れさえなければ、よき社会人という雰囲気がある。

●もう一方の性格特性
 自分もふくめて、環境をあるがままにとらえようとせず、主観的に判断することのほうがおおい。場の雰囲気や感情に左右されてしまい、相手に合わせて考えを変えてしまうところがある。また、表層的な言葉が多いためか、じっくり思索した発言が少ない。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型				52
客観・科学型				57
社会・経済型				50
心理・情緒型				46
審美・芸術型				53

物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、おおよその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				49
協調性				44
責任感				51
自己信頼性				50
指導性				47
共感性				52
感情安定性				45
従順性				43
自主性				54
モラトリアム傾向				54

自分で決断をすることができ、自発的に物事を実行する。今の考えや生き方について、確信がつかめず悩んでいる。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

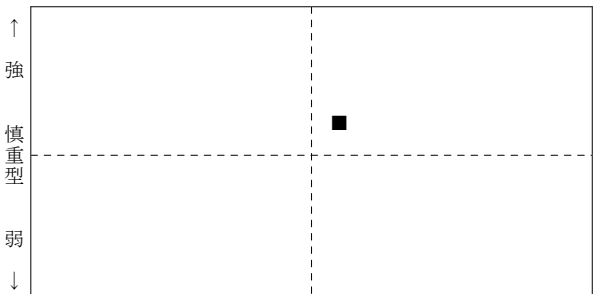
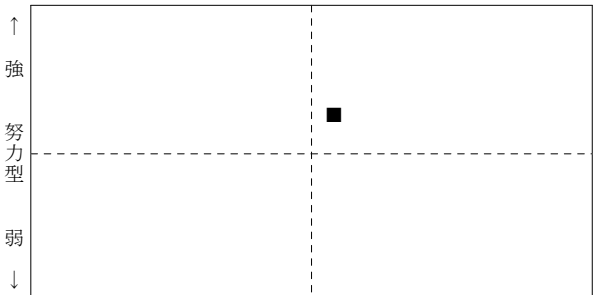
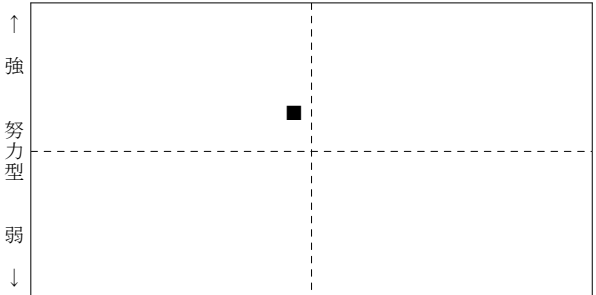
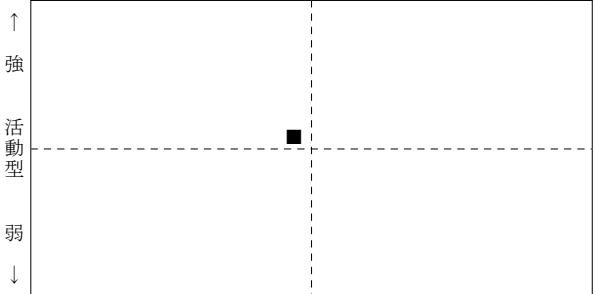
意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				60
親和 欲求				33
求知 欲求				51
顕示 欲求				60
秩序 欲求				50
物質的欲望				93
危機 耐性				53
自律 欲求				46
支配 欲求				56
勤労 意欲				52

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。世の中は実力と努力が大切で、友は能力のある人を選ぶ。自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「人より優位に立ちたい」系統の欲求群となっている。逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【本人の性格特性】

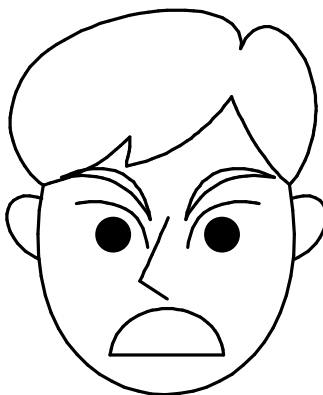
■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 瞳の直径：達成欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 顔の輪郭：性格類型
 眉の傾き：従順性
 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【自己評価】

意欲・ヤル気		管理・対人能力				思考能力									
積意根責決	極欲気任断	指導力	リ己信	自整力	折衝力	独創斬新	現状分析	洞察立案	企画立案	専門知識	情報活用				
B	C	B	A	B	B	C	C	D	B	C	A	A	A	C	C
B		C				B									

【採用判定】

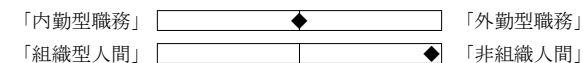
定着性・安定性 = -4

CUBICの判定結果=「D」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性		40
(2) 海外など精神力の必要な職務		45
(3) 足腰のよさが武器になる職務		43
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		44
(5) 標準化された仕事や工場労働		41

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- 「適切」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- 「適切」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- 「適度」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- 「小適」営業など対人的接触をとまう仕事
- 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- 「適度」広報管理者
- 「適度」営業管理者
- 「適度」研究管理者
- 「適度」広報専任者
- 「小適」企画管理者
- 「小適」基礎研究管理者

《低い順》

- 「努力」秘書専任者
- 「努力」営繕専任者
- 「努力」人事専任者
- 「努力」人事管理者
- 「努力」経理専任者

【判定結果E】配置適性 2

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 「適切」経営企画 | (1) 「努力」秘書 |
| (2) 「適切」新規事業開発 | (2) 「努力」人事 |
| (3) 「適切」調査分析 | (3) 「努力」庶務 |
| (4) 「適度」研究開発 | (4) 「努力」総務 |
| (5) 「適度」顧客開発 | (5) 「努力」受注窓口 |
| (6) 「適度」品質管理 | |